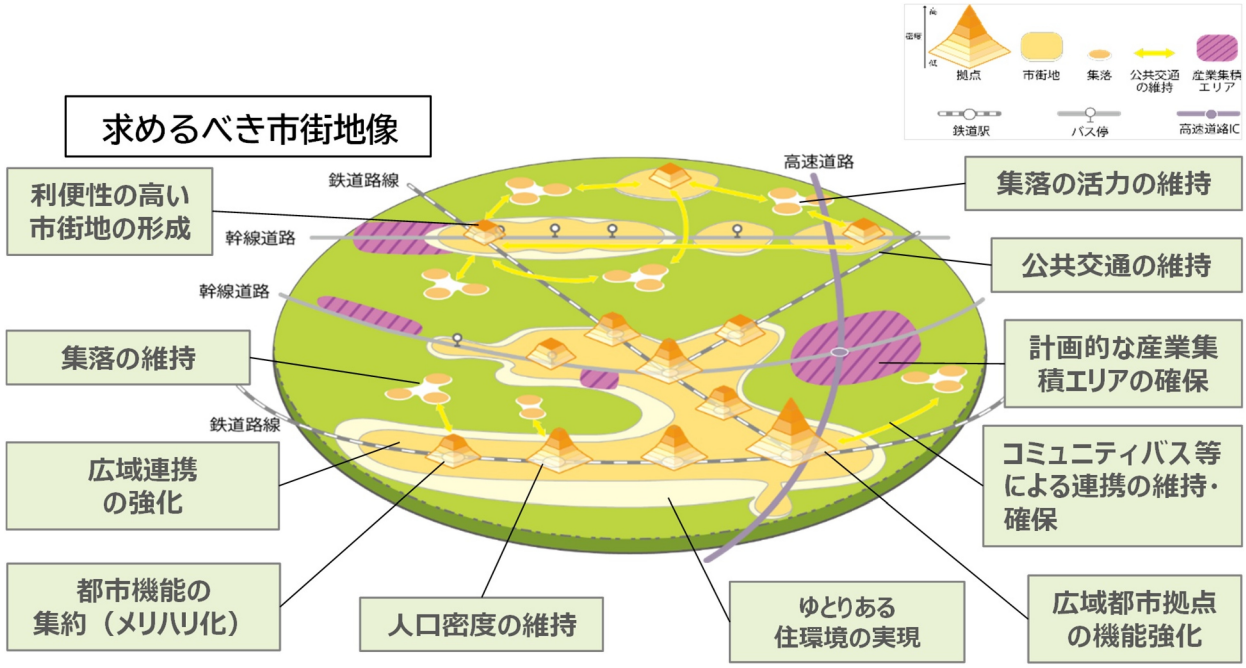
8. 上位・関連計画

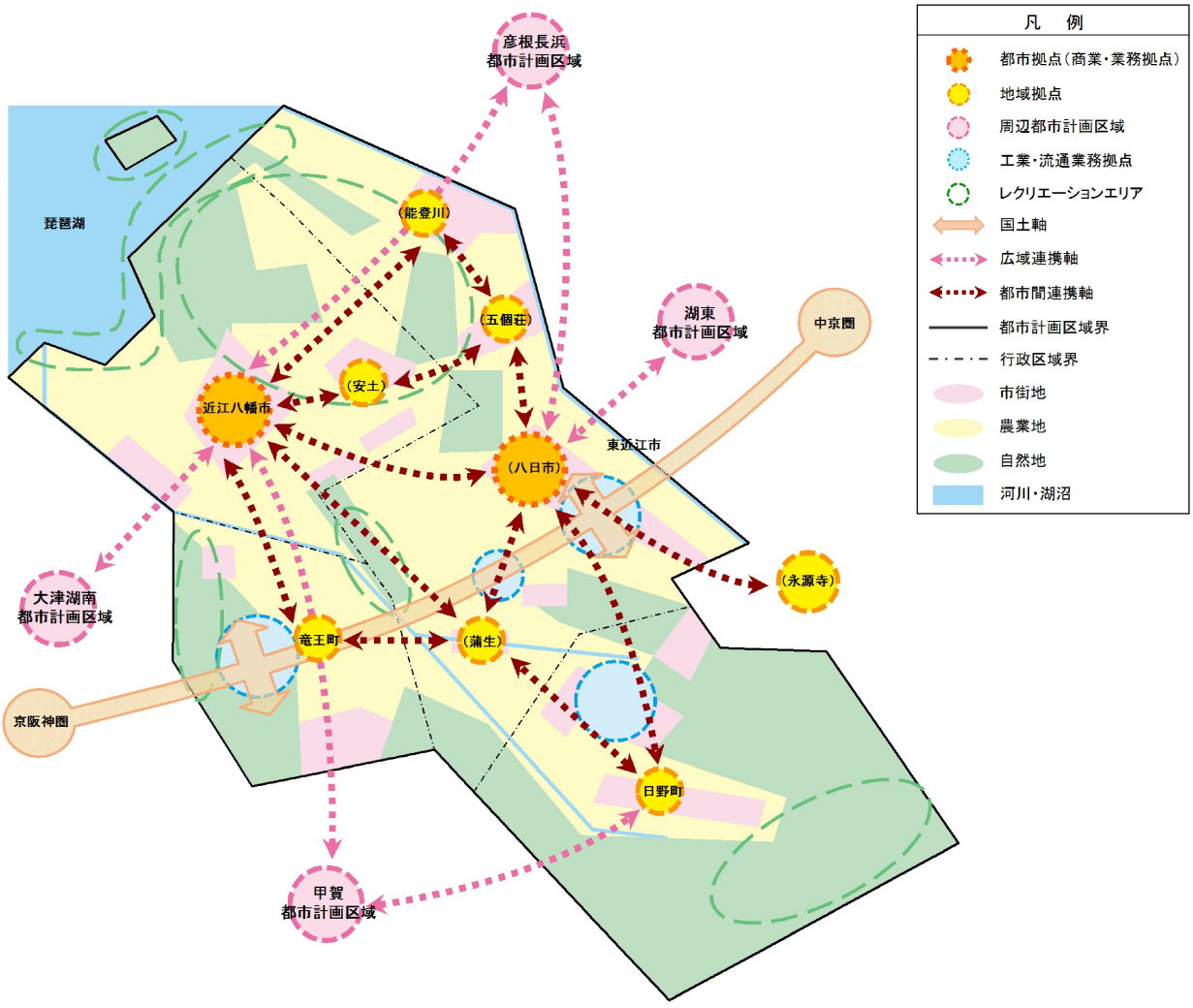
(1) 滋賀県都市計画基本方針

策定年月	令和４年(2022 年)３月
都市の将来像	◆住む、働く、憩うといった機能が集積した多様な拠点において、多様な人々との出会い・交流を通じた豊かな生活を実現できる社会 ◆成長性のある企業立地の促進と、先端技術の活用や、新たなサービスや製品の普及による便利で快適に生活できる社会 ◆拠点を結ぶ公共交通網および拠点までの移動手段により安心して移動できる社会 ◆自然災害に対応した都市で安全に暮らせる社会 ◆歴史・文化・風土に根ざした地域の資源が保全、継承、活用され、自然と共生する文化が育まれる社会
将来都市構造のイメージ	
まちづくりの方向性	◇職住近接のゆとりある生活圏を構築するための魅力ある多様な拠点の形成 ◇滋賀の成長を支える多様な産業の創出や利便性の向上に資するまちづくり ◇人や物の円滑な移動や交流を促進する質の高い交通・道路ネットワークの形成 ◇災害リスクを低減し、拠点間の広域的な連携による相互支援を可能とする安全なまちづくり ◇滋賀らしい歴史・文化資源、自然資源、景観を活かし継承するまちづくり

(2) 近江八幡八日市都市計画　都市計画区域の整備、開発及び保全の方針

策定年月	平成 31 年(2019 年)3 月
基本理念	◆都市機能の集約化を取り入れたまちづくり ◆中心核の形成による自立性の高いまちづくり ◆元気な産業を育むまちづくり ◆良好な住環境を育むまちづくり ◆豊かな自然、歴史・文化と協調したまちづくり ◆安全・安心なまちづくり

近江八幡八日市都市計画区域の将来都市構造図



(3) 第 6 次日野町総合計画

策定年月	令和 3 年（2021 年）3 月
計画期間	令和 3 年度（2021 年度）～令和 12 年度（2030 年度）
将来像	時代の変化に対応し だれもが輝き ともに創るまち“日野”

体系

政策の柱	政策	分野	めざす姿
1 未来を担うひとづくり	❶ 子育てにやさしい風土づくり	①子ども・子育て	子育てを地域全体で支える気風があり、対話で築く地域保育サービスのなかで、どの子も安心して健やかに育つことができるまち
		②学校教育	学ぶ喜びや楽しさを実感でき、豊かな心、確かな学力、健やかな体を育む、地域に根ざした学校づくりをすすめるまち
		③地域で子どもを育む	地域社会全体で、まちへの誇りと愛着をもつ次代を創る子どもを育てるまち
	❷ 生涯にわたる学びと活躍の推進	④生涯学習・スポーツ	いつでも、どこでも、誰でも、生涯にわたり学びを続け、地域社会のなかで活躍し続けることができるまち
		⑤図書館	人と情報、人と人をつなぎ、図書館を通じた学びのネットワークから、新たな創造が生まれ、様々な世代がいきいきと暮らせるまち
		⑥歴史文化	多様な文化・芸術活動に親しむ機会にあふれ、まちの歴史遺産や文化財の保存・継承と学習が進み、まちづくりに活かされ、四季折々の魅力が情報発信されているまち
		⑦人権	一人ひとりが基本的人権と人間の尊厳への正しい理解と認識を深め、お互いに尊重していくための自主的な学習を進め、人権意識の高揚を図るまち
		⑧男女共同参画	男女がお互いを尊重し、一人ひとりの個性や能力を充分に発揮することができるまち
2 暮らしを支えるしごとづくり	❸ 生活の基盤となる町内産業の持続発展	⑨農業	多様な農業経営体を育成し特産農産物をはじめとする地域農業の安定と、身近に「農」のある暮らしができるまち
		⑩森林・林業	森林や里山が保全され、豊かな森林資源の循環が可能なまち
		⑪中小・小規模企業支援	地元企業が持続的に発展し、地域内経済循環のなかで多様な創業と事業承継があり、地域経済の活力あふれるまち
		⑫企業・新産業の誘致	地元を育て世界に発信する企業・新産業の誘致と、起業の創出により、安定して仕事のあるまち
		⑬雇用・労働環境	だれもがいつまでも働ける安心と生きがいの職場環境があるまち
	❹ まちの魅力を活かした賑わいの創出	⑭観光振興	町民自らがまちのたからに誇りを持ち、その魅力を楽しみながら、賑わいとおもてなしの心で来訪者を迎えるまち
		⑮地元商工業の振興	まちの魅力を感じ、町民の暮らしが地元商工業を支える地産地消（地商）で、あきないと交流を楽しむ文化・風土を育むまち
3 安心・助け合いのくらしづくり	❺ 健やかで思いやりのある地域共生社会の形成	⑯地域福祉	福祉制度の枠組みを超えて、地域の住民みんなで「おたがいさま」の気持ちで参画し、だれもが役割と生きがいのもてるまち
		⑰健康・医療	健康づくりと病気の予防に取り組み、だれもが生涯にわたり、からだもこころも健康でいきいきと暮らせるまち
		⑱高齢者福祉	高齢になってもだれもが住み慣れた地域で自分らしく役割と生きがいをもって、暮らし続けることができるまち
		⑲障がい福祉	障がいのある人もない人も、お互いに人格と個性を尊重し合い、人として尊厳が守られともに生きることができるまち
	❻ 人と豊かな自然との共生	⑳循環型社会	効率的なエネルギー利用の促進とごみの減量や資源化により、循環型社会を構築し、地球への負荷の少ない環境に優しいまち
		㉑環境共生	一人ひとりが環境保全や美化意識をもち、豊かな自然に囲まれ、快適な生活ができるまち
4 住みたくなる都市基盤づくり	❼ 災害や危機への備えの強化	㉒防犯・交通安全	交通安全意識が高く、地域の見守り等により防犯体制が充実し、安らげる暮らしが送れるまち
		㉓防災・消防	高い防災意識による地域ぐるみの防災体制により、災害に強いまち
	❽ 居心地のよい都市環境の整備	㉔都市計画	住民の暮らしを豊かにし交流や賑わいを生む、秩序ある計画的な土地利用をすすめるまち
		㉕公共交通	超高齢社会や人口減少社会にふさわしいだれもが便利で快適な公共交通のあるまち
		㉖住環境	住まいが確保され、生活環境が整い安心して暮らし続けられるまち
		㉗上水道・下水道	安心安全な水道水の安定供給と適切な汚水処理により、衛生的で健康的な生活を支えるまち
		㉘景観	日野にいきづく伝統文化を継承し、歴史遺産や暮らしの風景をまもり未来につなぐまち
		㉙情報化社会への対応	地域の活力につながるタイムリーな情報の収集と発信により、だれもが積極的にまちづくりに参画するまち
5 みんなではぐくむ地域づくり	❾ 住民が主人公の地域形成	㉚進取のまちづくり	地域の課題解決や活性化に向け、住民自ら学びあい主体的で活発な自治活動があり、多機能な公民館を拠点とした協働と自治の力で時代に合うそれぞれの特色ある地域づくりが進むまち
		㉛交流・移住	国内外の人と地域が交流することで、多文化の相互理解を深め新しい価値が生まれ共生が進むまち
	❿ 時代の変化に柔軟に対応できる行財政運営	㉜公共施設	公共施設が適切に管理され、最適な公共サービスが提供されるまち
		㉝行政運営	社会情勢の変化に柔軟に対応し、限りある財源で最大の効果を追求し、持続的に行政サービスが提供されるまち
		㉞財政基盤	適切な税収の確保により将来にわたり持続可能で安定的な行財政基盤のあるまち

(4) 日野町くらし安心ひとづくり総合戦略（第２期）

策定年月	令和３年(2021 年)３月
計画期間	令和３年度(2021 年度)～令和７年度(2025 年度)
基本目標	◆結婚・出産・子育ての希望をみんなで支えてかなえる ◆地域資源を活かし、地域経済の活力と暮らしを支える雇用をつくる ◆まちの魅力を活かし、交流を育み新しい人の流れをつくる ◆くらしやすい地域を育み、安心して住み続けられるまちをつくる

(5) 日野町国土利用計画（第６次）

策定年月	令和４年(2022 年)４月
計画期間	令和４年(2022 年度)～令和 13 年(2031 年度)
土地利用の基本的方針	◆適切な町土管理と町民の豊かさを実現する町土利用 ・町土の適切な利用と管理 ◆産業構造の変化に対応する町土利用 ・暮らしと産業を支える基盤づくり ・快適な生活環境の創造とすべての人に対する配慮 ◆自然環境と美しい景観等を保全・再生・活用する町土利用 ◆安全・安心を実現する町土利用 ◆複合的な施策の推進と町土の選択的な利用 ◆多様な主体による町土管理
利用区分別の町土利用の基本方向	◇農地 ◇森林 ◇原野等 ◇水面(ため池)・河川・水路 ◇道路 ◇宅地 ◇その他

9. 町民意向

第 6 次日野町総合計画の策定にかかる住民意識調査、高校生アンケート、各地区まちづくり懇談会より住民が考える生活環境上の問題点やまちづくりに対する意向を把握します。

(1) 住民意識調査

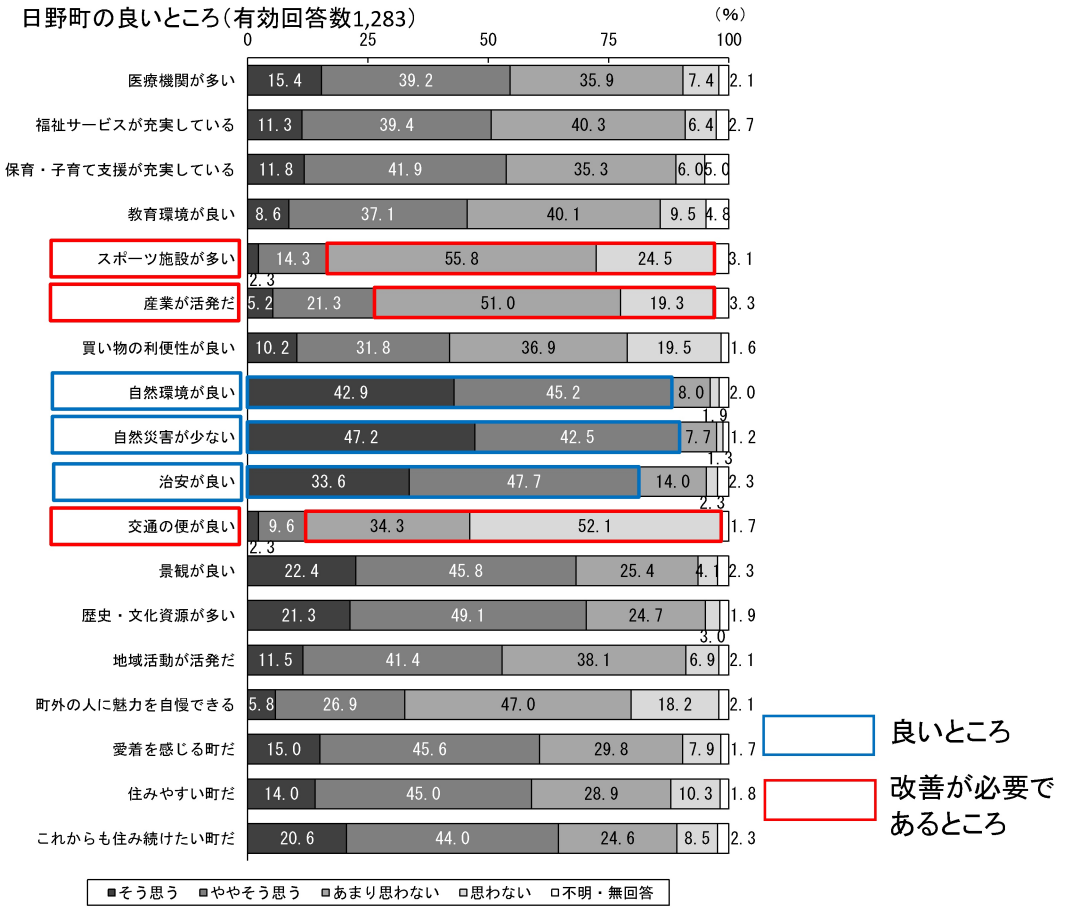
第 6 次日野町総合計画の策定にかかる住民意識調査の基本情報は以下のとおりです。

● 実施時期	平成 31 年 1 月
● 配布・回収方法	郵便による配布・回収
● 調査対象者	日野町内在住の 18 歳以上の住民
● 配布数	2,500 部
● 有効回答数	1,283 部（有効回答率 51.3%）

【日野町の良いところ】

日野町の良いところとして、第一に『自然災害が少ない』ことが挙げられています。第二に『自然環境が良い』、第三に『治安が良い』ことが挙げられています。

しかし、改善が必要であるところ（あまり思わない・思わないと回答）として、第一に『交通の便が良い』が挙げられています。第二に『スポーツ施設が多い』、第三に『産業が活発だ』が挙げられています。

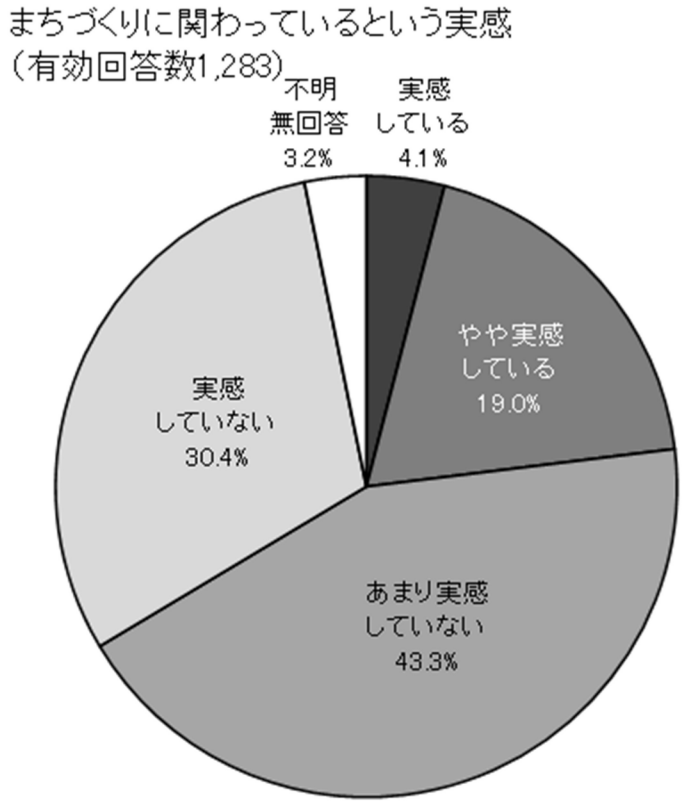


日野町の良いところ

【まちづくりに関わっているという実感】

まちづくりに関わっていると実感している住民は 4.1%、やや実感しているは 19.0%であり、これらを合わせて、まちづくりに関っていると感じている人は、23.1%となっています。

一方、あまり実感していないは 43.3%、実感していないは 30.4%であり、これらを合わせて、まちづくりに関わっていないと感じている人は、73.7%となっています。

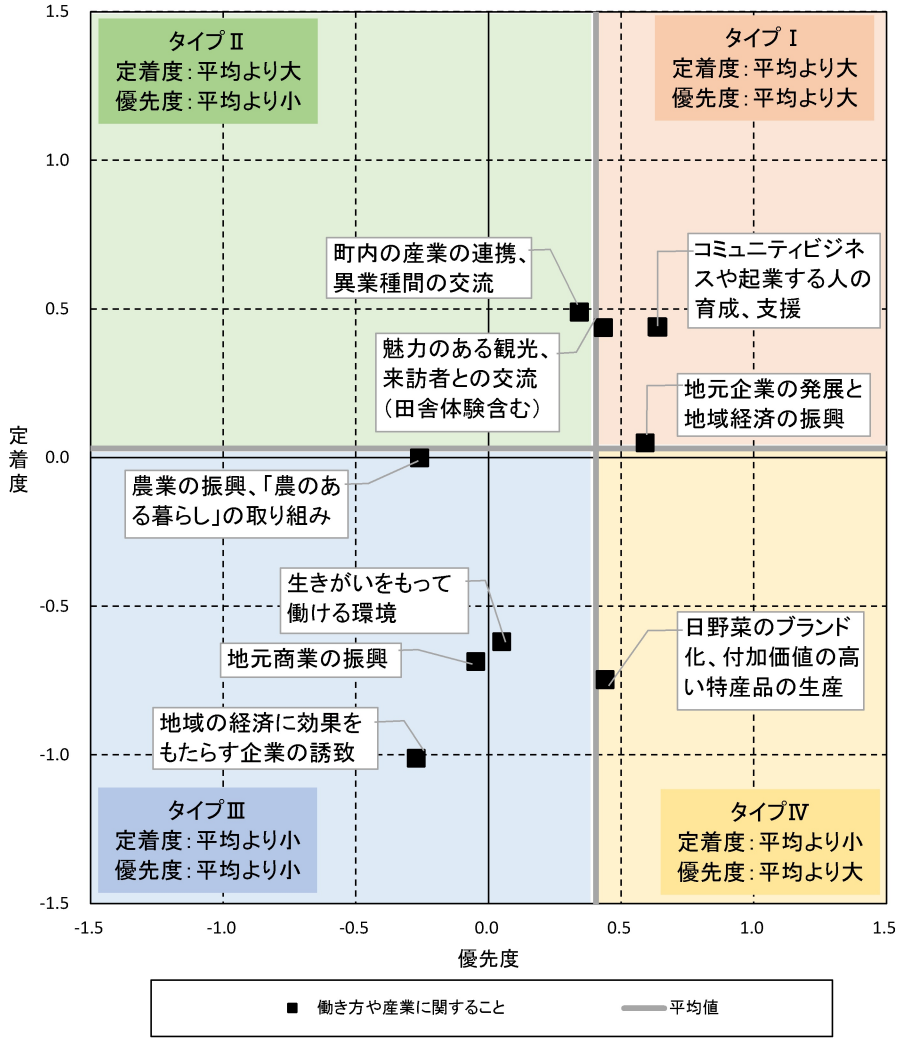


まちづくりに関わっているという実感

【働き方や産業に関すること】

働き方や産業に関することにおいて、タイプⅠとタイプⅣに分類される項目が多く、二分化となっています。

地域の経済に効果をもたらす企業を誘致するよりも現在の地元企業の発展と地域経済の振興の優先度が高くなっています。



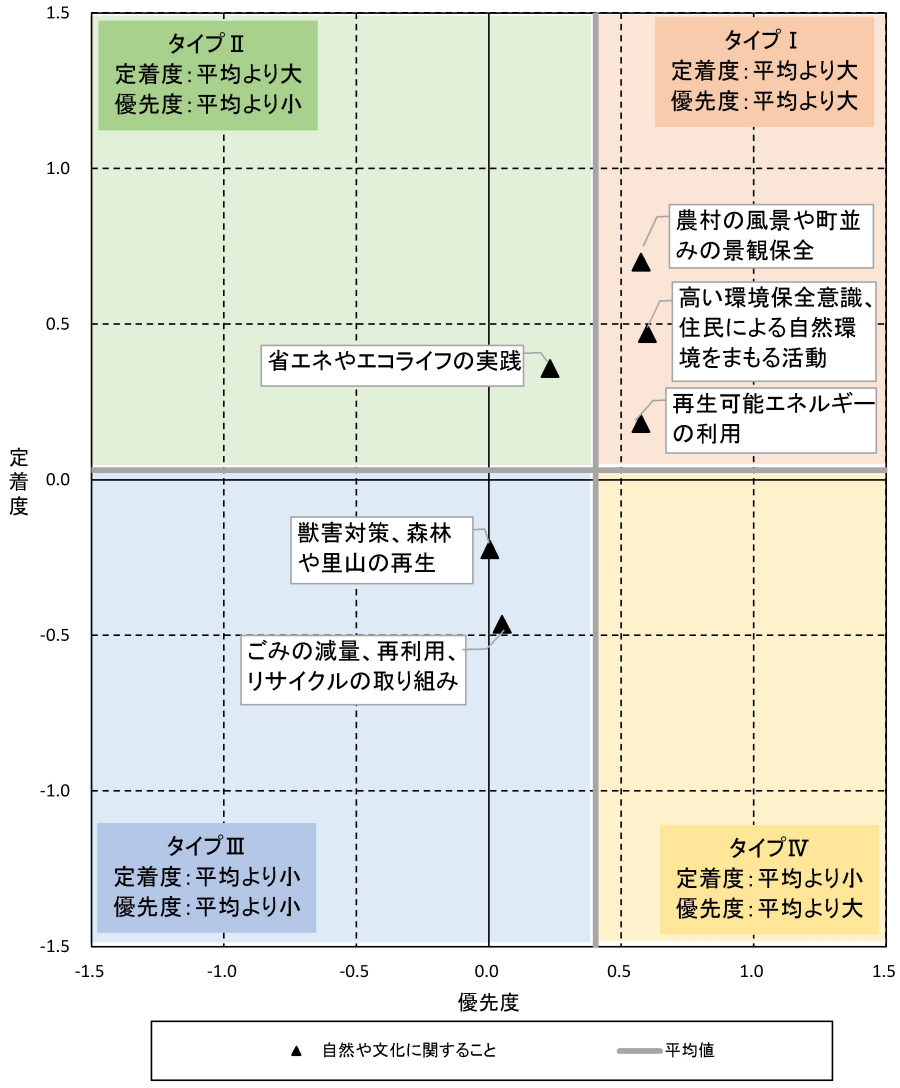
働き方や産業に関すること

上記の図は、各施策の定着度と優先度をプロットし、全施策の平均値と比較した場合
タイプⅠ：現在の定着度が高く、将来の優先度も高い施策
タイプⅡ：現在の定着度が高く、将来の優先度は低い施策
タイプⅢ：現在の定着度が低く、将来の優先度も低い施策
タイプⅣ：現在の定着度は低く、将来の優先度は高い施策
の４タイプに分割されます。

【自然や文化に関すること】

自然や文化に関することにおいて、タイプⅠに分類される項目が最も多くなっています。次いで、タイプⅣの項目となっています。

現在の景観・自然環境を保全すること、再生可能エネルギーの利用の優先度が高くなっています。



自然や文化に関すること

上記の図は、各施策の定着度と優先度をプロットし、全施策の平均値と比較した場合

タイプⅠ：現在の定着度が高く、将来の優先度も高い施策

タイプⅡ：現在の定着度が高く、将来の優先度は低い施策

タイプⅢ：現在の定着度が低く、将来の優先度も低い施策

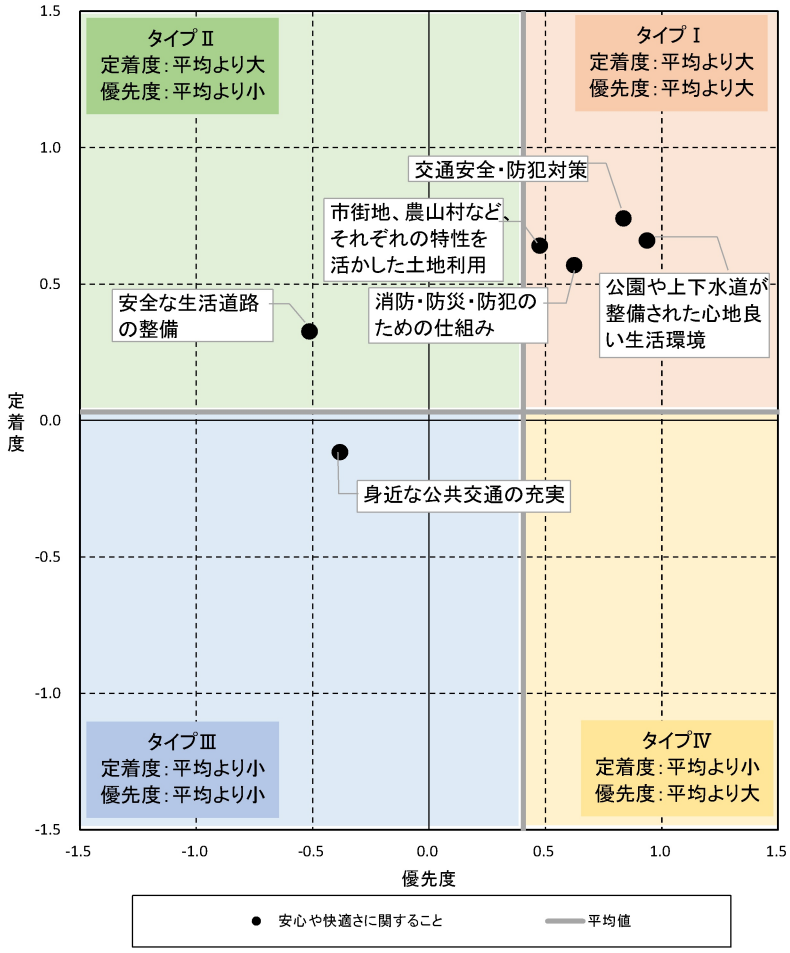
タイプⅣ：現在の定着度は低く、将来の優先度は高い施策

の４タイプに分割されます。

【安心や快適さに関すること】

安心や快適さに関することにおいて、タイプⅠに分類される項目が最も多くなっています。次いで、タイプⅢ及びタイプⅣが１項目ずつとなっています。

公園や上下水道が整備され、防災及び防犯が整った住みよい生活環境を整えることの優先度が高くなっています。また、市街地では都市機能等の集積化、農村部では、自然との共存を図りながら快適な生活を構築するなどの特性を活かした土地利用の優先度が高くなっています。



安心や快適さに関すること

上記の図は、各施策の定着度と優先度をプロットし、全施策の平均値と比較した場合

タイプⅠ：現在の定着度が高く、将来の優先度も高い施策

タイプⅡ：現在の定着度が高く、将来の優先度は低い施策

タイプⅢ：現在の定着度が低く、将来の優先度も低い施策

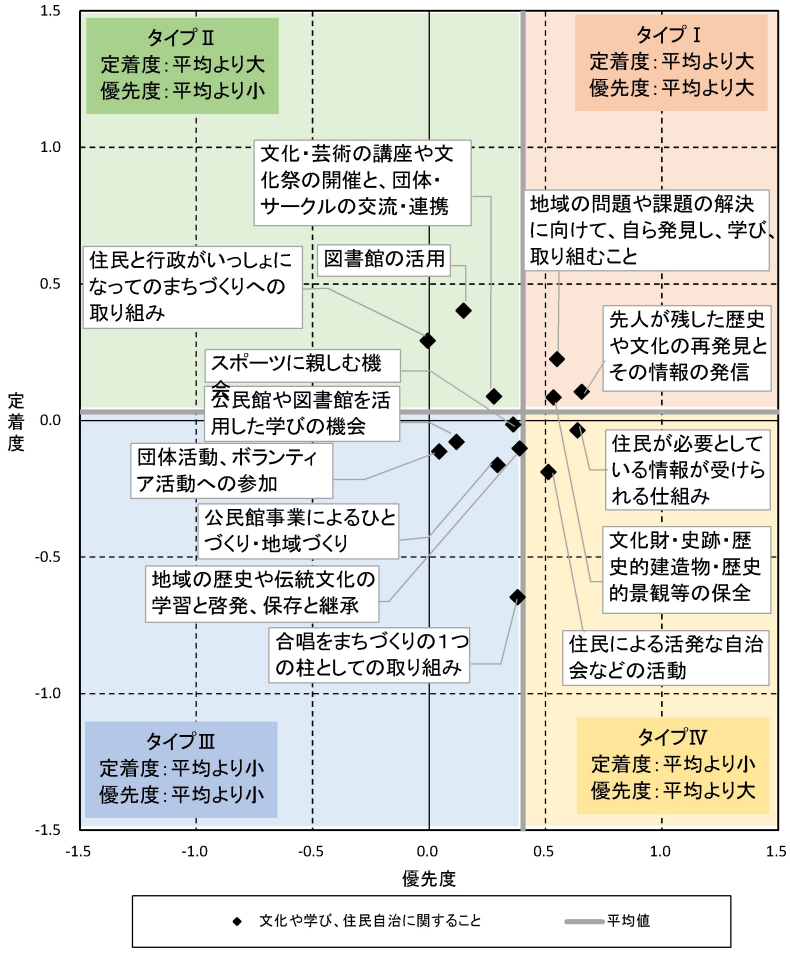
タイプⅣ：現在の定着度は低く、将来の優先度は高い施策

の４タイプに分割されます。

【文化や学び、住民自治に関すること】

文化や学び、住民自治に関することにおいて、タイプⅠ～Ⅳのいずれも複数の項目となっています。その中でタイプⅣに分類される項目が最も多くなっています。

公民館事業によるひとづくり・地域づくり等に関連する現在の取組に対して、定着していないとともに、将来の優先度も低いことから、従来の取組とは異なる観点で検討していくことが必要と考えられます。



文化や学び、住民自治に関すること

上記の図は、各施策の定着度と優先度をプロットし、全施策の平均値と比較した場合
タイプⅠ：現在の定着度が高く、将来の優先度も高い施策
タイプⅡ：現在の定着度が高く、将来の優先度は低い施策
タイプⅢ：現在の定着度が低く、将来の優先度も低い施策
タイプⅣ：現在の定着度は低く、将来の優先度は高い施策
の４タイプに分割されます。

(2) 高校生アンケート

第 6 次日野町総合計画の策定にかかる高校生アンケートの基本情報は以下のとおりです。

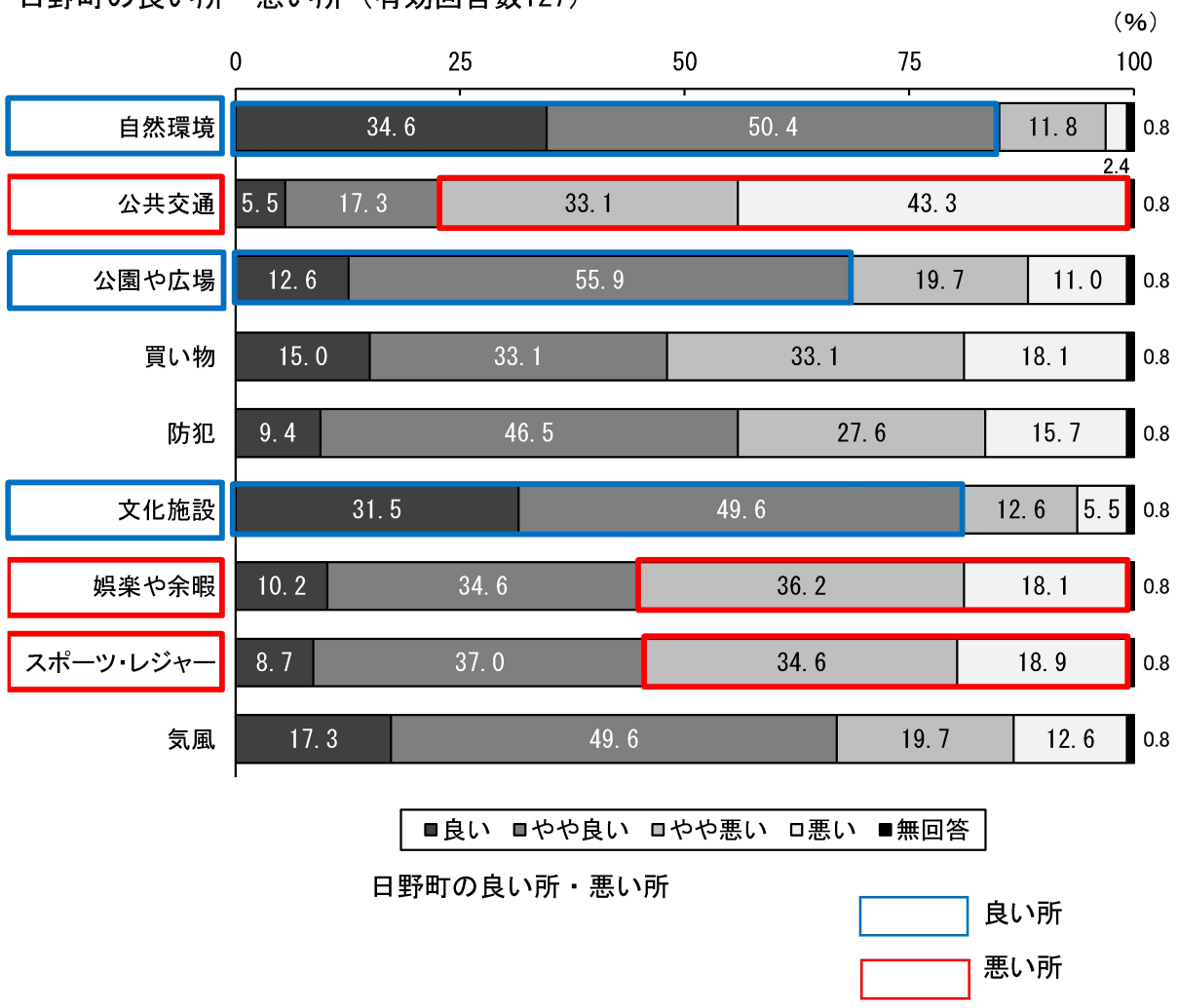
● 実施時期	平成 31 年 1 月
● 配布・回収方法	学校を通じて配布・回収
● 調査対象者	滋賀県立日野高等学校 2 年生

【日野町の良い所・悪い所】

日野町の良い所（良い及びやや良い）として、第一に、自然環境が挙げられています。第二に文化施設、第三に公園や広場となっています。これらは、高校生が生活をする上で充足感を感じている項目と考えられます。

一方で、悪い所（悪い及びやや悪い）として、第一に、公共交通が挙げられています。第二に娯楽・余暇、第三にスポーツ・レジャーとなっています。これらは、高校生が生活をする上で不便に感じている項目と考えられます。

日野町の良い所・悪い所（有効回答数127）



日野町の良い所・悪い所

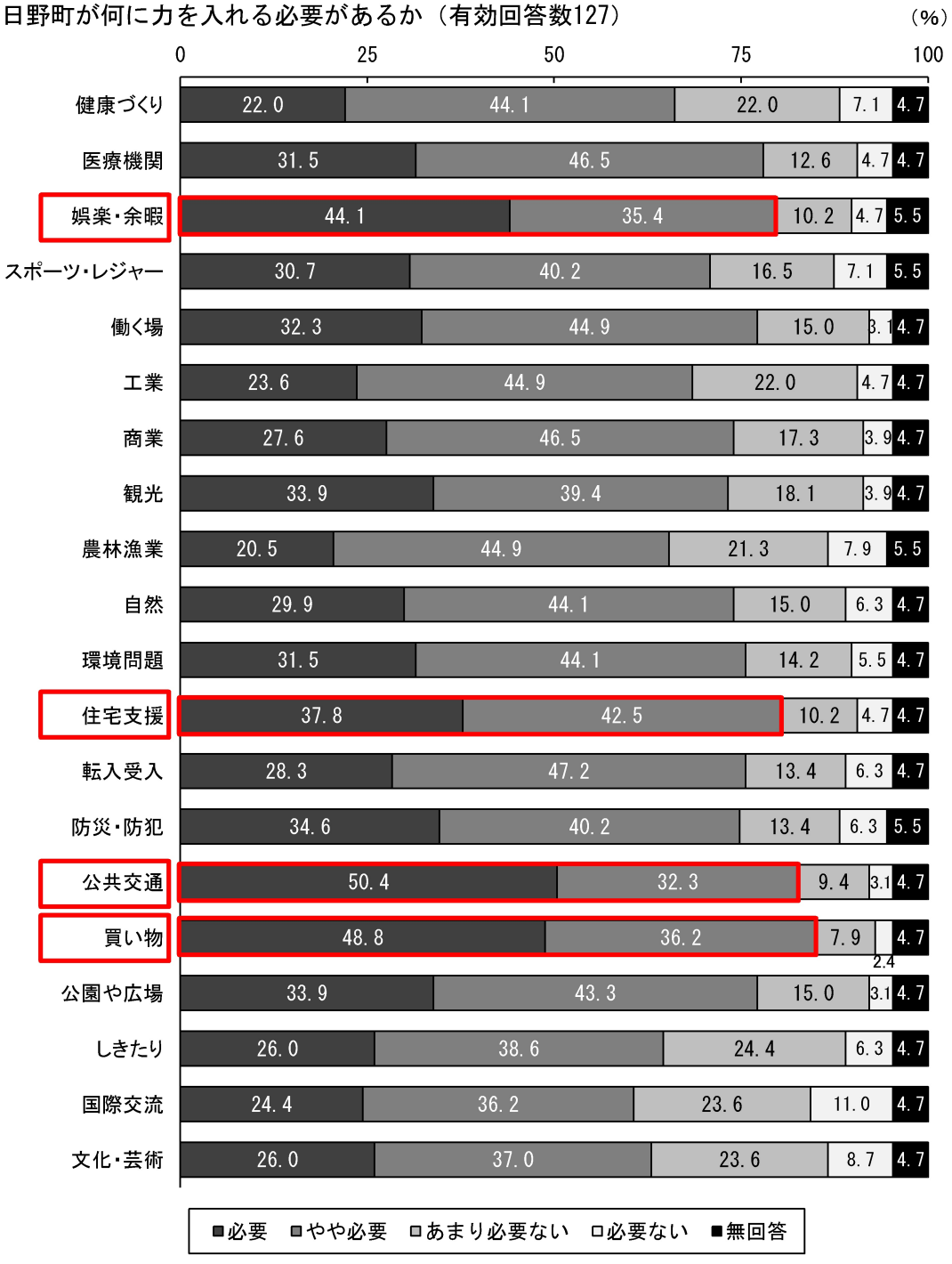
良い所

悪い所

【日野町が何に力を入れる必要があるか】

日野町でこれからも住み続けたいと思える町にするために、何に力を入れる必要があるか、という設問に対して、必要及びやや必要という回答が多かったのは、買い物です。次いで、公共交通や住宅支援が挙げられています。また、娯楽・余暇についても高い値となっています。

これらは今後、積極的に取組等を行ってほしい項目であると考えられます。



日野町が何に力を入れる必要があるか